

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

1. 団体の概要(令和8年4月1日現在)

代表者(職・名)	理事長 堀場厚				
所在地	京都市左京区下鴨半木町1番地の26				
電話番号	075-711-2244	設立年月日	平成5年3月31日		
ホームページアドレス	https://www.kyoto-ongeibun.jp/				
基本財産(又は資本金)(千円)	103,000	市出資・出捐金(千円)	55,000	市出資割合(%)	53.4
所管部局 (局・室・電話番号)	文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課 075-222-3119				
事業目的	京都市世界文化自由都市宣言の理念に基づき、音楽、演劇、舞踊その他の芸術及び芸能を振興し、国内外へ発信することにより、京都が優れた文化を創造し世界文化交流の中心であり続けることに寄与するとともに、市民が生きがいのある文化的な生活を送ることができる社会づくりに貢献すること。				
業務内容	(1) 芸術及び芸能の振興並びに伝統芸能の継承及び発展に資する事業 (2) 京都の文化芸術の国内外への発信と交流の促進に資する事業 (3) 京都市交響楽団による芸術の振興及び発信に資する事業 (4) 文化芸術を通して地域社会の活性化や健全な発展に寄与する事業 (5) 文化芸術の振興拠点として、創造的な活動が不断に行われるための施設の管理運営 (6) その他法人の目的を達成するために必要な事業				

(参考①) 役職員の年齢構成

(単位:人)

	役員		職員		平均年齢 (歳)
	常勤役員	非常勤役員	常勤職員※	非常勤職員	
10～20歳代	0	0	24	0	46
30歳代	0	0	33	0	
40歳代	0	0	54	0	
50歳代	0	8	66	0	
60歳代～	2	18	16	0	
合計	2	26	193	0	

※うち京都市からの派遣職員は6人

(参考②) 積立金、不動産の概要

基金、積立金等(退職引当金は除く)		
主な基金、積立金名	想定される主な用途	期末残高
京響70周年記念事業準備資金	京響70周年記念事業	110百万円
ロームシアター京都記念事業準備資金	ロームシアター京都記念事業	40百万円

土地、建築物の保有状況		
主な不動産の種類、場所	想定される主な用途	敷地・延床面積
—	—	— m ²
—	—	— m ²

(参考③)京都市の政策と団体活動の関連性

関連する本市の行政計画等とその方向性	
計画名	第2期 京都文化芸術都市創生計画(平成29年3月) https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000004509.html
概要	京都の豊かな文化・芸術を活かした持続可能で創造的なまちづくりを目指し、具体的指針を定めたもの。
計画における記載	<p>方向性1:暮らしの文化や芸術に対する豊かな感受性をもった人々を育む</p> <p>■子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨くP16</p> <p>13 「ほんもの」の魅力が伝わる場所での公演に触れる機会の創出 コンサートホール、劇場等の場所での子どもたちへの鑑賞機会の提供を推進</p> <p>21 京都市ジュニアオーケストラ・京都市少年合唱団の運営や地域文化会館における教育プログラムの実施等、 子どもの音楽文化の振興・普及を図る取組の推進</p> <p>■市民が文化芸術に親しむP18</p> <p>34 京都市音楽芸術文化振興財団等の文化芸術団体と連携した鑑賞・参加型事業の推進</p> <p>35 「文化芸術都市・京都が世界に誇るオーケストラとしてより市民に愛される京響」を目指す取組の推進</p> <p>方向性3:京都の文化芸術資源を活用し、文化を基軸にあらゆる政策分野との融合により、新たな価値を創造する</p> <p>■文化施設を充実するP29</p> <p>110 ロームシアター京都を拠点とした劇場文化の創造・発信</p> <p>◎本市の文化芸術を支える主な拠点等の現状と今後の方向性P30,P31</p> <p>ロームシアター京都、京都コンサートホール、京都市交響楽団、地域文化会館 について、それぞれ記載あり</p>
上記計画に関連する団体の事業や取組	
	<p>方向性1:暮らしの文化や芸術に対する豊かな感受性をもった人々を育む</p> <p>方向性3:京都の文化芸術資源を活用し、文化を基軸にあらゆる政策分野との融合により、新たな価値を創造する</p> <p>13 「ほんもの」の魅力が伝わる場所での公演に触れる機会の創出</p> <p>34 京都市音楽芸術文化振興財団等の文化芸術団体と連携した鑑賞・参加型事業の推進</p> <p>35 「文化芸術都市・京都が世界に誇るオーケストラとしてより市民に愛される京響」を目指す取組の推進</p> <p>110 ロームシアター京都を拠点とした劇場文化の創造・発信</p> <p><取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ○京都コンサートホール 聴いて！歌って！楽しもう！きょうと・キッズ・フェスタ、幼児のためのポジティブオルガン体験講座、KCH的クラシック音楽のススメ ○京都市文化会館 京響 ZERO歳からのみんなのコンサート(全館) 等 ○ロームシアター京都 京都市交響楽団 オーケストラ・ディスカバーリー 高校生のためのオペラ鑑賞教室 等 <p>21 京都市ジュニアオーケストラ・京都市少年合唱団の運営や地域文化会館における教育プログラムの実施等、 子どもの音楽文化の振興・普及を図る取組の推進</p> <p><取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ○京都市ジュニアオーケストラ 京都市ジュニアオーケストラ 創立20周年記念コンサート(京都コンサートホール)、 京都市ジュニアオーケストラ ミュージック・サマー・コンサート(右京) 等 ○京都市文化会館 シアターデビュー促進プログラム(ロームシアター京都連携(全館))、 子ども向けワークショップ(東部)、夏休みこどもバックステージツアー(呉竹)、 夏休みウエスティたんけんツアー(西文)、伝統芸能「狂言鑑賞会」(西文)、 舞台・バックステージ探検ツアー(右京)、小学生のための音楽体験会(右京) 等 ○ロームシアター京都 プレイ！シアターin Summer 等

2. 財務面の概要

(単位:千円)

主要財務数値	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	予算	実績	予算	実績	予算	実績(※)	予算
経常収益	3,042,224	3,047,490	3,052,087	3,046,427	3,242,920		3,342,757
経常費用	3,000,587	2,979,991	3,042,179	3,021,499	3,292,459		3,410,802
当期経常増減額	41,637	67,499	9,908	24,928	△ 49,539		△ 68,045
当期正味財産増減額	41,637	67,179	9,908	24,608	△ 49,539		△ 68,045
資産合計	-	1,750,700	-	1,837,462	-		-
負債合計	-	856,287	-	918,441	-		-
正味財産合計	-	894,413	-	919,021	-		-
累積損益額	-	791,413	-	816,021	-		-

(参考④) 財務指標

(単位:%)

			令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算	
自立性	市補助金割合	$\frac{\text{市補助金収入}}{\text{経常収益}}$	28.1	29.0	#DIV/0!	小さいほど 自立性が高い
安定性	自己資金率	$\frac{\text{正味財産合計}}{\text{資産合計}}$	51.1	50.0	#DIV/0!	大きいほど 安定性が高い
収益性	売上高経常利益率	$\frac{\text{経常収益}-\text{経常費用}}{\text{経常収益}}$	2.2	0.8	#DIV/0!	大きいほど 収益性が高い
	総資産経常利益率	$\frac{\text{経常収益}-\text{経常費用}}{\text{資産合計}}$	3.9	1.4	#DIV/0!	大きいほど 収益性が高い

(参考⑤) 京都市からの補助金等

(単位:千円)

		令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算(※)	令和8年度 予算
補助金	事業補助	854,897	884,906		959,000
	小計	854,897	884,906	0	959,000
委託料	京都コンサートホール管理運営〔指定管理(非公募、利用料金制)〕	181,165	160,018		159,878
	京都会館管理運営〔指定管理(公募、利用料金制)〕	357,343	357,343		378,223
	文化会館管理運営〔指定管理(公募、利用料金制)〕	241,156	240,721		234,464
	自主、共催事業	8,579	6,717		6,600
	事業委託	5,378	5,377		6,228
	小計	793,621	770,176	0	785,393
貸付金		-	-		-
	小計	0	0	0	0
その他		-	-		-
	小計	0	0	0	0

3. 目標及び実績

(1) 業務面

目標 「各施設の利用促進」	
令和7年度の目標	<p>施設ごとに実施している割引制度の周知に努め、更なる利用促進を行い、引き続き平成30年度の利用率を目標に利用料金収入の回復に努める。</p> <p>京都コンサートホール（開館30周年）やロームシアター京都（リニューアルオープン10周年）の周年記念を契機に広報・宣伝を強化し、更なる利用率の向上に取り組む。</p> <p>また、財団においても自主事業として施設商用撮影貸出（ロケーションボックス）等を行い、施設の稼働率向上や増収に努める。</p>
令和7年度の取組結果 (※)	
令和8年度の目標	<p>施設ごとに実施している割引制度の周知に努め、更なる利用促進を行い、引き続き平成30年度の利用率を目標に利用料金収入の回復に努める。</p> <p>令和7年度に引き続き、ロームシアター京都（リニューアルオープン10周年）や京都市交響楽団（創立70周年）の周年記念を契機に広報・宣伝を強化し、更なる利用率の向上に取り組む。</p> <p>また、財団においても自主事業として施設商用撮影貸出（ロケーションボックス）等を行い、施設の稼働率向上や増収に努める。</p>

指標	施設商用撮影貸出（ロケーションボックス）の利用促進						(単位：件)
目標と実績	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
	3	0	3	0	3		3

(2) 財務面

目標 「サポーター・パートナー会員収入」	
令和7年度の目標	<p>支援者にとって意義や魅力が理解しやすく、一層共感を得られる制度となるようこれまでの税制上の優遇措置のあるコースの他に、税制上の優遇措置はないが自主事業のチケット割引等の特典のあるコース、29歳以下の方限定のコースも新設し、今年度に引き続き新規会員の獲得や一度退会した会員への支援再開を促すとともに、現会員との関係性向上にも注力し、目標額700万円（3コース合計）の達成を目指す。</p> <p>観賞で応援コース／寄付で応援コース/U29コース</p> <p>法人：サポーター 34口 3,400千円</p> <p>〃：スペシャルサポーター 10口 1,000千円</p> <p>個人：パートナー 50口 1,000千円</p> <p>〃：スペシャルパートナー 80口 1,600千円 計7,000千円</p>
令和7年度の取組結果 (※)	

令和8年度の目標	<p>既存会員に向けては、前年度に新設した各コースの特典や制度の趣旨を丁寧に紹介しながら、本制度の意義や魅力への理解を一層深め、継続率の向上を図るとともに、京都コンサートホールおよびロームシアター京都の事業や公演の魅力を積極的に発信し、会員であることの価値をより明確に伝えていく。</p> <p>あわせて、新規会員の獲得に向けては、最速先行予約対象公演数の拡充や多彩な会員限定イベントの実施により特典の充実を図り、「鑑賞で応援！コース」については招待公演のラインナップを前年度比で倍程度に拡大するなど、制度全体の魅力向上に取り組み、さらなる会員数の増加につなげる。</p> <p>また、法人会員に対しては、前年度に刷新した法人向け営業資料を活用しながら継続的な提案活動を行いながら、ニーズを的確に把握し、関係性の深化と安定的な支援基盤の確立を図り、目標額700万円（3コース合計）の達成を目指す。</p> <p>観賞で応援コース／寄付で応援コース／U29コース</p> <p>法人：サポーター 34口 3,400千円 //：スペシャルサポーター 10口 1,000千円 個人：パートナー 50口 1,000千円 //：スペシャルパートナー 80口 1,600千円 計7,000千円</p>

指標	施設利用料金収入						(単位：千円)
目標と実績	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標
	773,709	747,118	774,969	770,886	803,609		803,609

指標	サポーター・パートナー会員収入（単年度）の目標値						(単位：千円)
目標と実績	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標
	7,000	4,560	7,000	4,546	7,000		7,000

(3) 組織面

目標	「経営基盤を強化するための適正かつ弾力的な人員配置」
令和7年度の目標	<p>令和7年度から8年度にかけて京都コンサートホール及び京都市北文化会館の開館30周年、ロームシアター京都のリニューアルオープン10周年、京都市交響楽団の70周年を迎えることから、記念事業等の実施を確実に実行する体制を確立する。また、引き続き次期指定管理者に選定されるよう、プロパー職員の登用試験及び職員研修を実施し、中長期的に財団を支える職員の人材育成に努める。</p>
令和7年度 の取組結果 (※)	

令和8年度の目標	<p>令和7年度に引き続き、令和8年度においても、ロームシアター京都のリニューアルオープン10周年、京都市交響楽団70周年の記念事業等の実施を確実に実行する体制を確立する。</p> <p>また、引き続き次期指定管理者に選定されるよう、プロパー職員の登用試験及び職員研修を実施し、中長期的に財団を支える職員の人材育成に努める。</p>
----------	--

指標	適正かつ弾力的な人員構成を測るための具体的なスケジュール		
目標と実績	令和5年度	目標	<ul style="list-style-type: none"> 適正かつ弾力的な人員構成の継続的な検討 中長期的に財団を支える職員のプロパー登用
		実績	<ul style="list-style-type: none"> プロパー登用試験の実施（プロパー登用者3人）
	令和6年度	目標	<ul style="list-style-type: none"> 適正かつ弾力的な人員構成の継続的な検討 中長期的に財団を支える職員のプロパー登用
		実績	<ul style="list-style-type: none"> プロパー登用試験の実施（プロパー登用者10人）
	令和7年度	目標	<ul style="list-style-type: none"> 適正かつ弾力的な人員構成の継続的な検討 中長期的に財団を支える職員のプロパー登用
		実績 (※)	
	令和8年度	目標	<ul style="list-style-type: none"> 適正かつ弾力的な人員構成の継続的な検討 中長期的に財団を支える職員のプロパー登用

4. 令和7年度の経営評価（令和6年度の経営状況に対する評価）

(1) 所管局による評価

財務面	<p>新型コロナウイルス感染症による施設利用料金収入の減収および利用率の低下については影響を受けていない平成30年度の水準までは回復していないものの、令和6年度に引き続き回復の傾向にある。</p> <p>コロナ禍以降、サポーター・パートナー新規会員の獲得に苦戦する状況が続いている中、主催公演でのパンフレット配布等周知のための取組の継続による新規申込の獲得や、ファンドレイジングによる外部資金の獲得強化に努めていることが評価できる。引き続き協賛金や各種補助金・助成金の確保、ファンドレイジングの推進など収入源の多様化を図り、経営基盤の更なる強化に努められたい。</p> <p>令和6年度は、指定管理施設（7館）のうちロームシアター京都を除く6施設の5期目の指定管理期間の2年度目であり、ロームシアター京都は8年間の指定管理者として後期期間の2年度目であった。引き続き、「中期経営計画2025」に基づき策定した指定管理者申請書の提案取組を推進し、更に効果的・効率的・安定的な財団運営を図ることが求められる。</p>
-----	--

事業面	<p>指定管理者として、施設管理運営を行うとともに各施設において特色のある事業を展開した。過去の経験を活かし、様々な国や年齢層の方々に広くクラシック音楽・文化芸術の魅力を発信し、地域の文化芸術の支援や情報発信を行い地域活性化の推進に取り組んだほか、音楽芸術の人材育成のための支援、サービス向上に向けた施設利用者ニーズの把握や施設整備の維持管理などを引き続き実施していることが評価できる。</p> <p>引き続き京都の文化芸術の創造・発信の拠点としての役割を果たすべく、本市と連携のもと、更に魅力的な事業の展開に努められたい。</p>
-----	--

(2) 外郭団体総合調整会議による評価

<p>業務面の目標について、京都市域の文化芸術拠点を運営する財団として、単なる施設の管理運営に留まらず、若手演奏家の育成支援、国内外の人材交流促進に加え、本市が推進する多様な市民・地域主体の交流・連携を促す機会の創出など、専門性を活かした事業展開を目指して欲しい。</p> <p>また、施設利用実績がコロナの影響を受ける前まで回復していないことについては、京都コンサートホール及び京都市北文化会館の開館 30 周年、ロームシアター京都のリニューアルオープン 10 周年、京都市交響楽団の 70 周年といった各周年事業を通じ、財団の強みや特色を存分に発揮することで、施設利用を促進させるとともに、施設の存在価値や京都が誇る文化芸術を京都市民はもとより、関西圏、さらには日本全国へと広く発信していただきたい。</p>
--